
凸版印刷の 海外事業展開と知財マネジメント

平成24年1月23日

凸版印刷株式会社

法務本部長 萩原 恒昭

1. 会社概要

社 名 : 凸版印刷株式会社
所在地 : (本店) 〒110-8560 東京都台東区台東1-5-1
(本社事務所) 〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1
創 業 : 1900年(明治33年)
代表者 : 代表取締役社長 金子 眞吾
資本金 : 1,050億円
売上高 : 1兆5564億円(連結)
経常利益 : 445億円(連結)
従業員数 : 48,197人(連結)

※実績は2011年3月現在

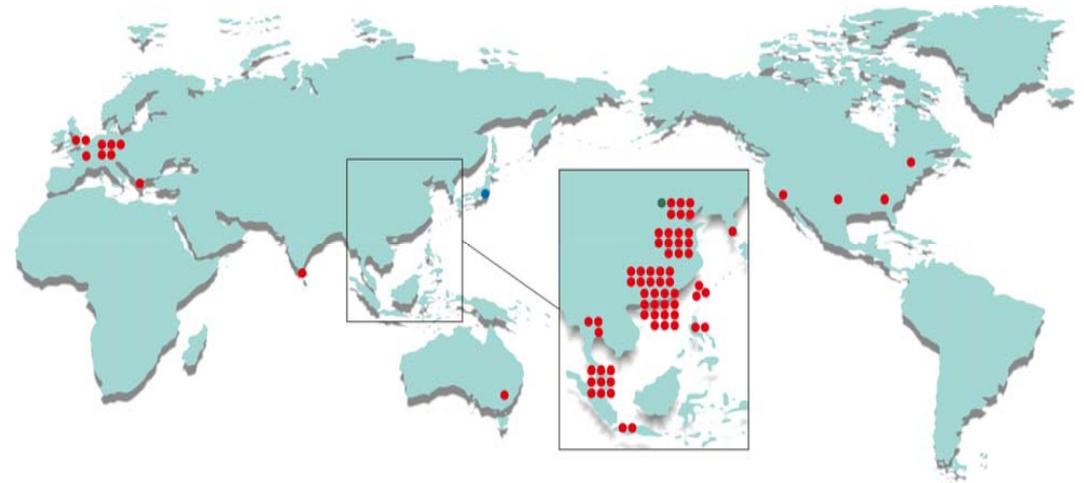


※社名の由来：大蔵省（現 財務省）出身の技術者が中心になり、当時の最新鋭製版技術であるエルハート凸版法をもって、設立。

2. 国内・海外事業展開

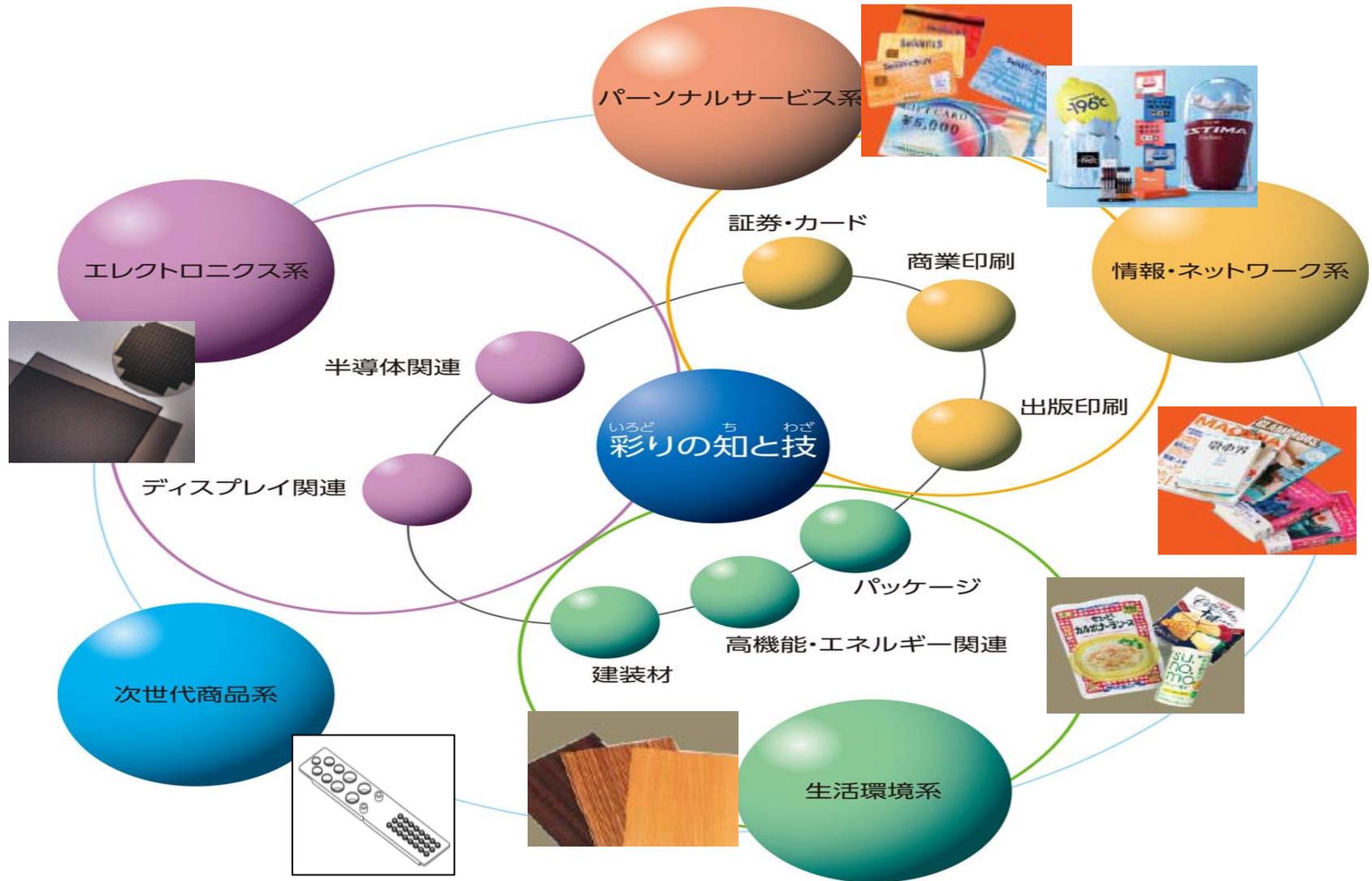


- ・本社 東京
- ・総合研究所 埼玉
- ・事業本部 6拠点
- ・工場 30拠点



- ・14カ国1地域に77社
(2011年3月末現在)

3. 凸版印刷の事業領域



4. 凸版印刷の経営課題

1. グローバルな事業展開の加速

2. 環境とエネルギー分野への取り組み強化

5. 凸版印刷の行動指針

「凸版印刷・行動指針」

基本原則5 品質の向上に努め、お客さまの満足に資する作品を提供する

4. 他人の知的財産権を侵害しない

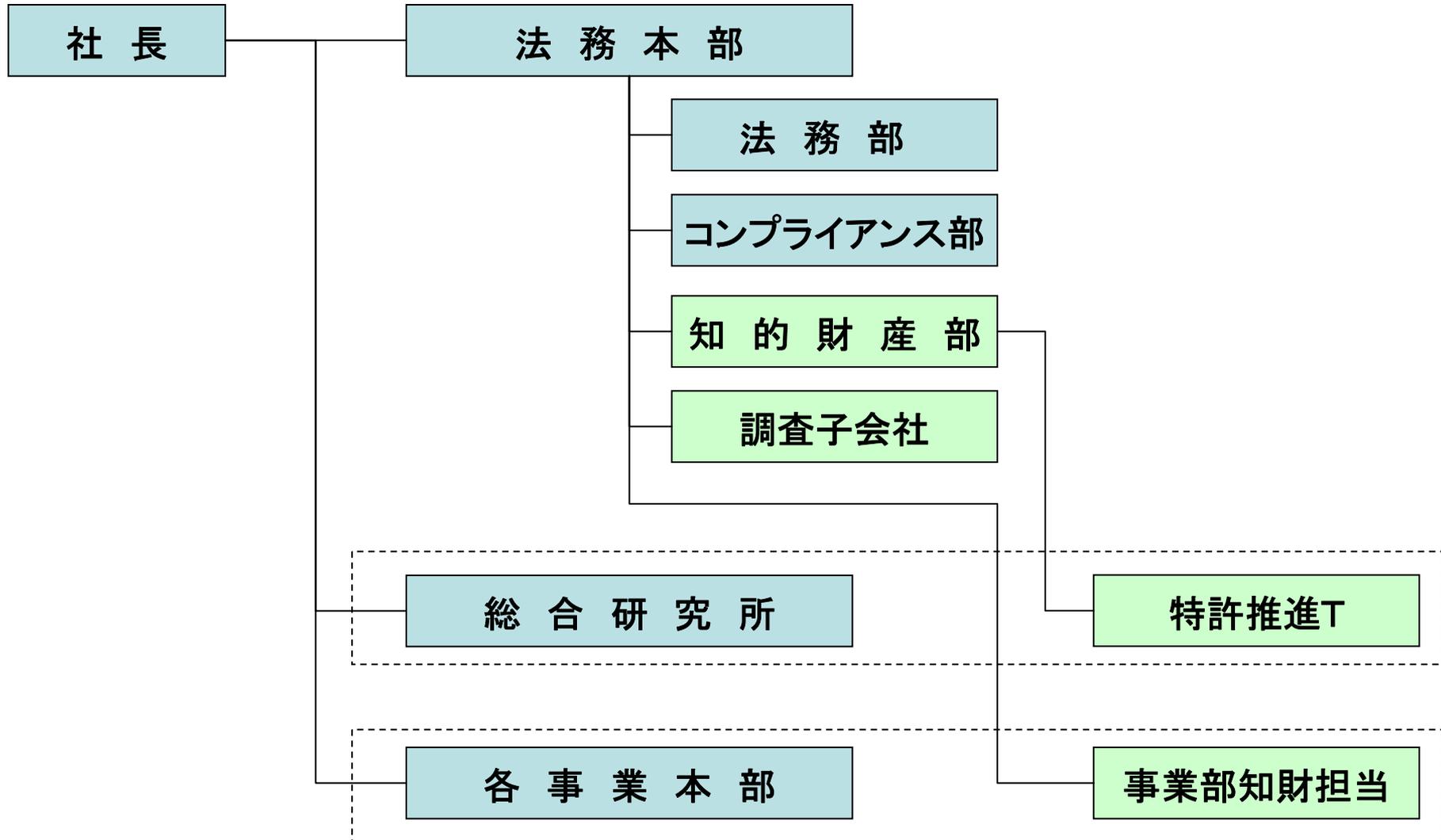
私たちは、他人の知的財産権や正当に締結された契約上の権利を侵害しないように努め、お客さまに迷惑がかからないよう行動します。

基本原則8 変化を捉え、新たな可能性に挑戦する

5. 知的財産を確保し、活用する

私たちは、自らの営業活動や技術・研究開発活動、生産活動において産まれる発明、創作、技術、ビジネスモデルなどを、知的財産権として積極的に確保し、活用します。また、私たちが蓄積した経験やノウハウ等についても、貴重な財産として共有します。

6. 法務・知的財産関連組織



7. 基本的取り組み

1. 研究・開発テーマの計画的特許出願

⇒ 期初に事業(本)部、研究所と研究・開発計画に沿った特許出願計画を策定し、毎月チェックすることで研究・開発成果を確実に特許出願する。

2. 研究・開発部門や事業戦略部門との特許情報の共有

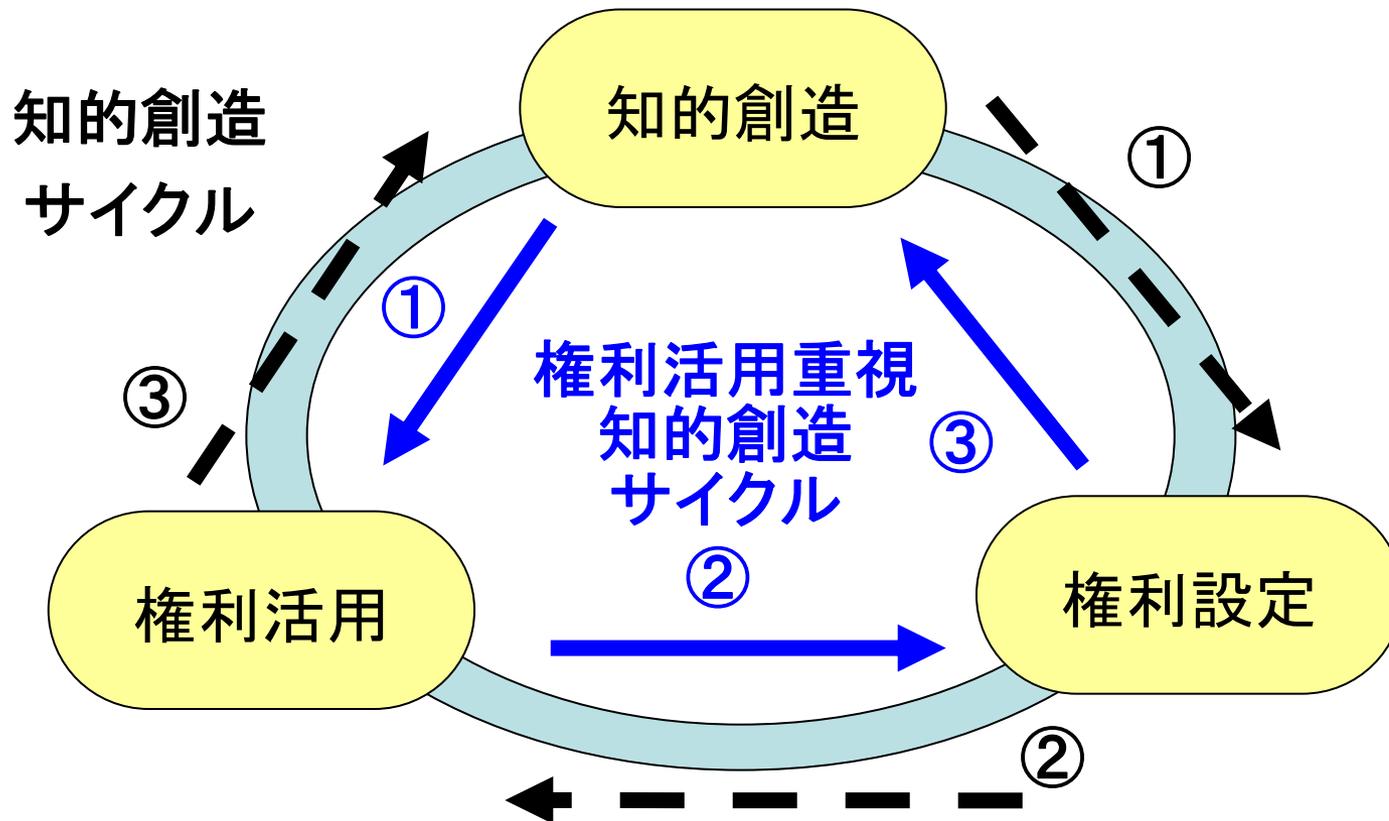
- ⇒ 重要テーマの自社・他社特許マップを作成し、経営情報を併せた自社・他社の特許の強み・弱みを分析する。
- ⇒ 自社・他社の特許情報を研究・開発部門や事業戦略部門と共有し、『特許戦略＝事業戦略』を検討する。

3. 特許の活用

⇒ 収益向上、ブランドイメージ向上に役立てる。

8. 知的財産戦略

- 権利活用を重視した知的創造サイクル活動
知的創造サイクルの逆回しによる、権利活用を目的とした保護、創造を図る（活用できる特許の作り込み）。



9. 特許出願件数

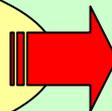
	2008年度	2009年度	2010年度
日本出願件数	1,544件	1,653件	1,429件



事業を行う外国での特許出願件数を増加させる！

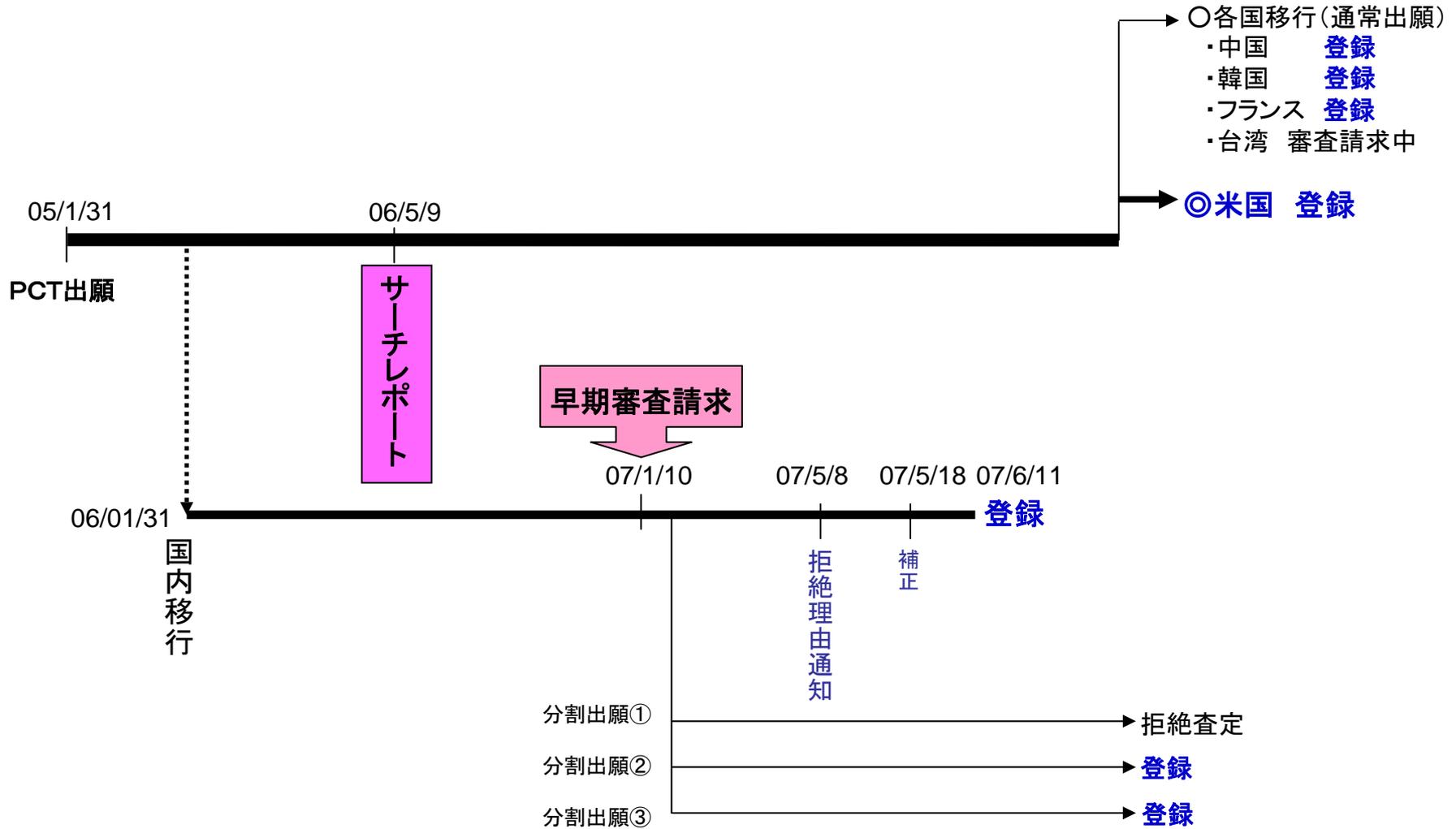
- 海外出願比率[現在] 約10% ⇒ [2015年] 30%
- 海外売上比率[現在] 約13% ⇒ [2015年] 30%

米国中心の外国出願



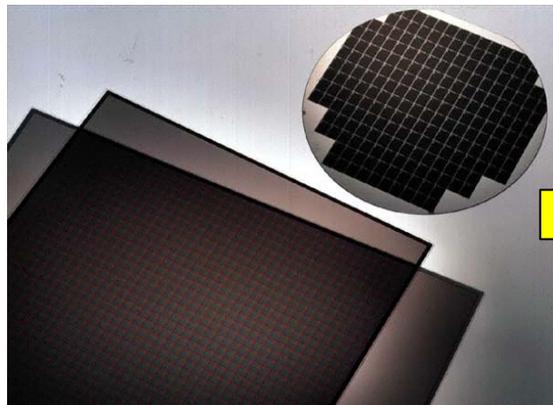
事業展開に対応した
アジア諸国中心に拡大

10. 日米審査ハイウェイを利用した早期権利化

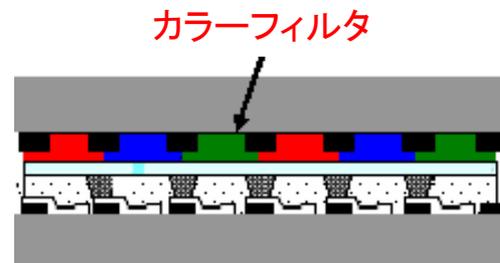


11. カラーフィルタ事業と特許

液晶ディスプレイ用カラーフィルタ

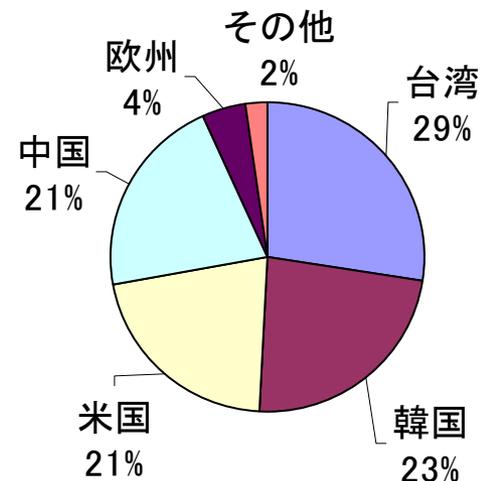


カラーフィルタの断面構成図



現行のフォトリソ方式カラーフィルタの**生産技術**や**検査・修正技術**、**材料技術**の研究開発を、**特許とノウハウ**で技術保護。

カラーフィルタの外国出願比率

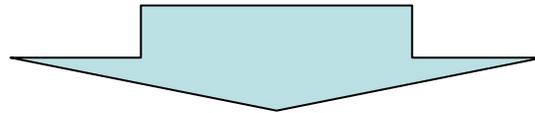


- 特許があることで、お客様の信頼と受注を獲得！
- 特許・技術ライセンスへの貢献

12. 侵害発見が困難な特許

【特許請求の範囲】

【請求項1】 イソボルニル(メタ)アクリレート、ジシクロペンテニル(メタ)アクリレート、ジシクロペンテニルオキシエチル(メタ)アクリレート、トリシクロ(5,2,1,02.6)ーデカニル(メタ)アクリレート、トリシクロ(5,2,1,02.6)ーデカニルオキシエチル(メタ)アクリレートの少なくとも一つからなる第1成分と、ヒドロキシエチルアクリレートまたはヒドロキシエチルメタクリレートの少なくともどちらか一方からなる第2成分とを含む共重合体を有し、第1成分が20～90重量%、第2成分が10～40重量%を占めるアクリル系樹脂、有機色素、分散剤、光重合性モノマー、光重合開始剤及び溶剤を含有してなるアクリル系感光性着色組成物が光硬化してなる着色樹脂層が基板上に設けられていることを特徴とするカラーフィルタ。



材料で特定した請求項では最終製品から侵害判断が難しい。

13. 環境とエネルギー分野への注力

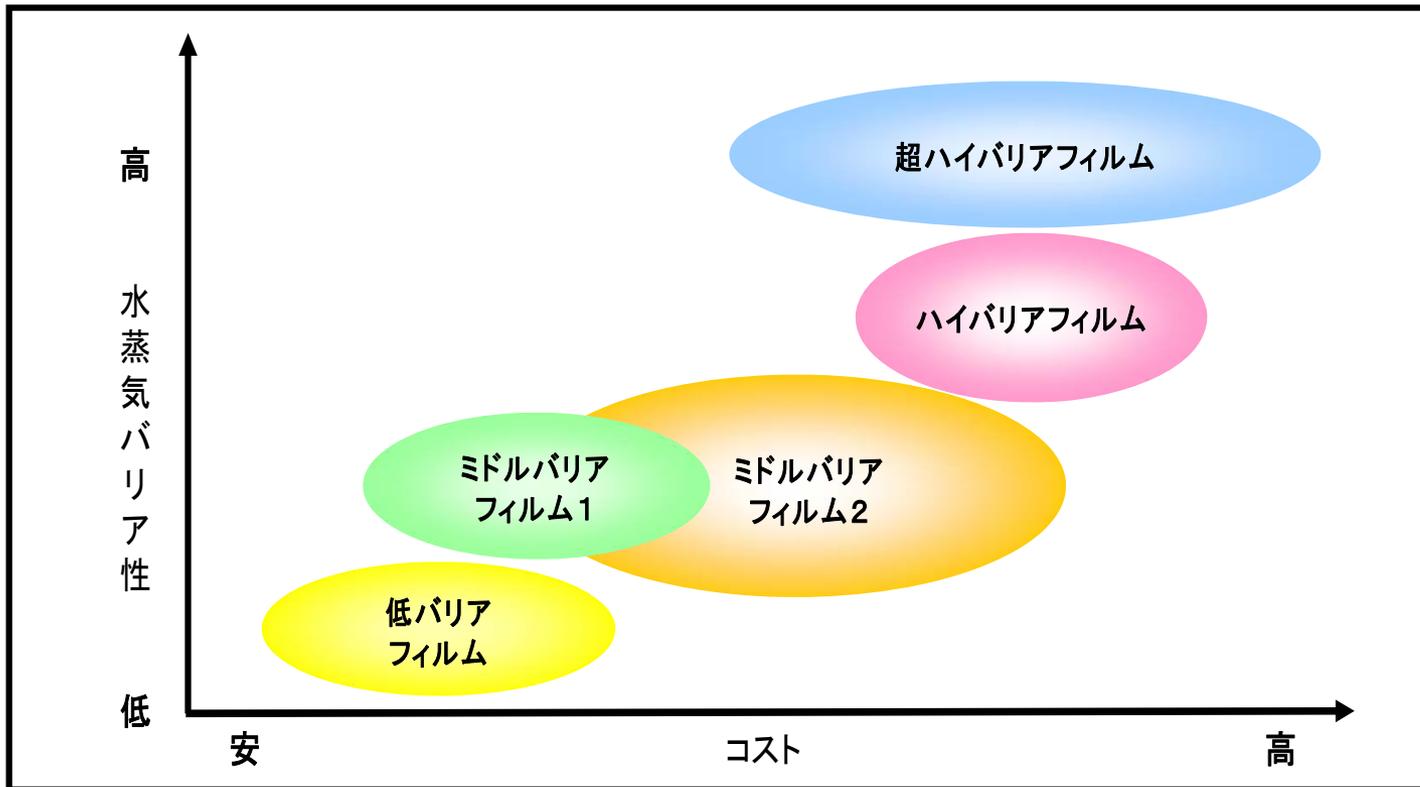
■ 環境とエネルギー分野への注力テーマ

1. 透明水蒸気バリアフィルム

2. リチウムイオン二次電池部材

3. 印刷方式による有機ELディスプレイ・照明

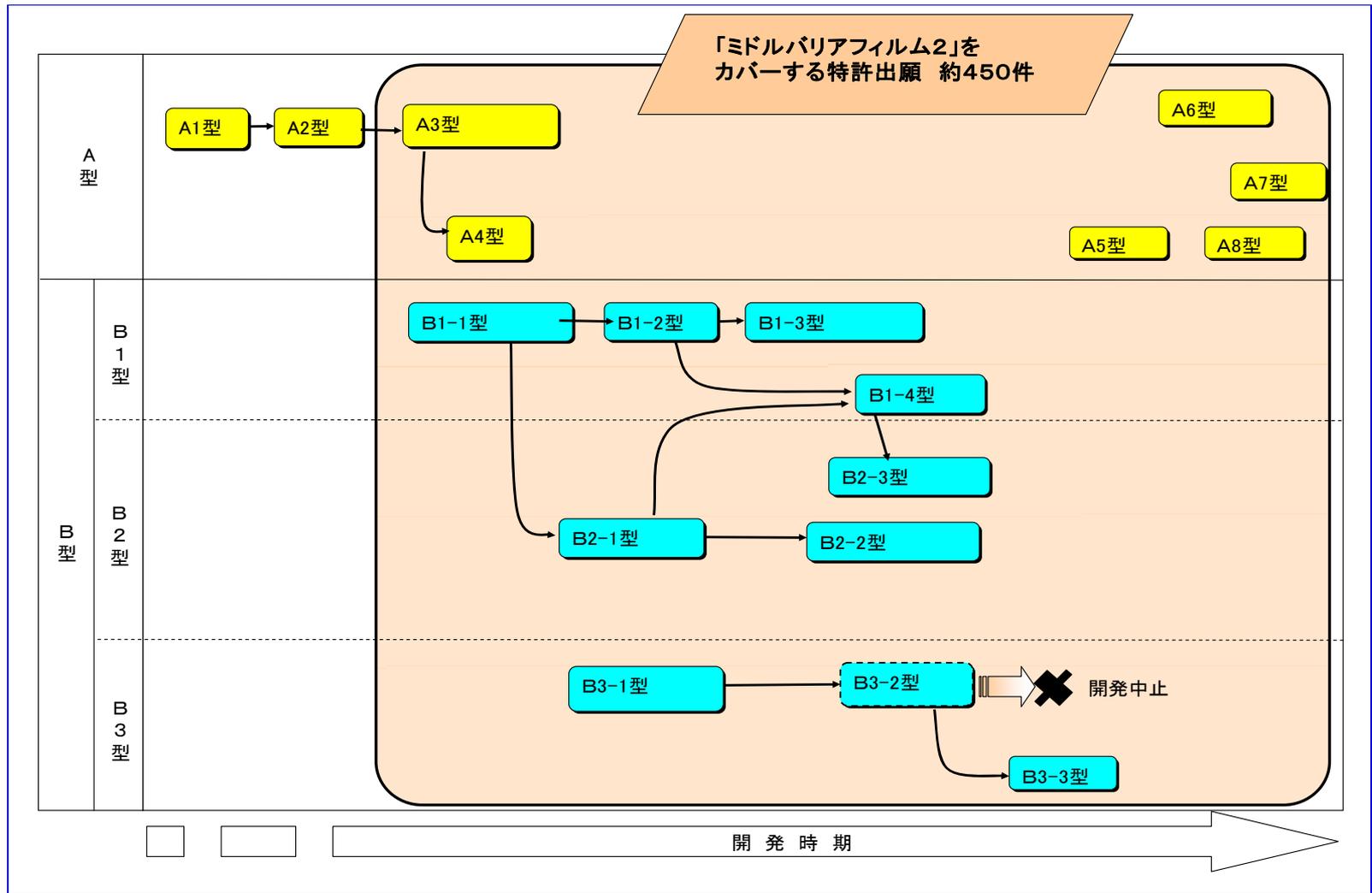
14. 透明水蒸気バリアフィルム全体の特許ポートフォリオ



- 特許出願国
- ・日本
 - ・米国
 - ・欧州
 - ・カナダ
 - ・中国
 - ・韓国
 - ・アジア諸国

バリア性能に応じたあらゆる製品ラインナップをカバーする特許網を構築し、他社参入排除を実施。

15. 「ミドルバリアフィルム2」の特許ポートフォリオ



開発製品をカバーする特許網を国内外で構築。